学校番号	３１０

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　家庭総合　持続可能な未来をつくる（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、家族や友達、地域の人などさまざまな人々とのかかわりや、食べているもの、着ている衣服、住んでいる家や買い物などを通して、社会と深くつながっています。毎日の生活を振り返り、問題点を見つけて改善することで生活を豊かにしていきましょう。そして自立した生活の準備をしていきましょう。

そのために生活に係る課題を「①協力・協働　②健康・快適・安全　③生活文化の継承・創造　④持続可能な社会の構築」という４つの視点で捉え、工夫し、考えることにより解決が出来るようになっていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識を科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章　これからの生き方と家族　第1節　生涯の生活設計	1．生涯発達する自分 －人と人とのつながりのなかで 2．青年期を生きる 3．キャリアの形成 4．ワーク・ライフ・バランスを求めて	a: 生涯発達の視点に立って，乳児期から高齢期までのライフステージの特徴と課題を見通し,その課題を他者と関わりながら達成し,生まれてから死ぬまで発達し続けていくという考え方を理解している。 b:自分の目指すライフスタイルを実現するために,職業選択などの具体的な事例を取り上げたりして考察し,生活設計を工夫している。 c: 自立した生活を営むために，生涯を見通しながら,様々な生活課題に対応して適切に意思決定し,責任を持って行動することが重要であることへの理解を深めようと取り組んでいる。	定期考査	ワークシート(活動)	授業態度 プリント提出
	2章　次世代をはぐくむ　第1節　子どもの発達	1．次世代をはぐくむ 2．命のはじまり 3．乳幼児の体の発達 4．乳幼児の心の発達	a:・ 身体の発育や運動機能などの発達の概要を理解している。 ・乳幼児期は人間の発達の段階において最も発達が著しい重要な時期であることや,子どもの発達には個人差はあるが,一定の方向性や順序性があることを理解している。 b: ・乳児期の親との関わりによる愛着の形成は，将来の人間関係の基礎となることを理解できている。 c: 子どもはこれからの社会を築いていくという視点から，子どもを生み育てることの意義や地域の一員として子どもの成長に関わることの意味について考えることができている。	定期考査	ワークシート(活動)	授業態度 プリント提出

	第2節　子どもの生活	1．親と子のかかわり 2．乳幼児の生活と安全 3．子どもの成長と遊び 体験　子どもとのかかわり方を学ぶ	a:・乳幼児期は，その発達の段階に応じた親の働きかけが重要であることを親の保育態度と関連付けて理解している。 ・社会的自立のためには，子どもの発達に応じて基本的生活習慣や社会的な規範を身に付けさせることが親や家族の重要な役割であることを理解している。 b:　・乳児の溢乳の対処や抱き方など，個々の子どもに応じた接し方を実践したり，安全や衛生に気を配り室内外の環境を整えたりすることの必要性を理解している。 ・乳幼児とのふれ合いや交流，親や保育者が乳幼児と関わる姿の観察など，実践的・体験的な学習活動を通して身に付けることができている。 c:・子どもの目の高さで優しく，わかりやすい言葉で話しかけたり，話を聞いたりすることの大切さについて理解を深めようとしている。	定期考査	ワークシート(活動)	授業態度 プリント提出
	第3節　子育て支援と福祉	1．地域社会と子育て支援 2．未来を担う子どもの権利	a:・家庭保育と集団保育を取り上げ，子どもの発達と環境との関わりについて理解できている。 b: 子どもの貧困や虐待の問題などを取り上げ，現代の子どもを取り巻く社会環境の課題について考えることができている。 c:・社会環境の変化による人間関係の希薄化，自然とふれ合う経験の不足，育児不安や孤立感，保育所不足と待機児童の問題などを取り上げ，子育て支援の必要性について理解しようと取り組んでいる。	定期考査	ワークシート(活動)	授業態度 プリント提出

	6章　衣生活をつくる　第1節　人の一生と被服	1．私たちと衣生活 2．被服の機能－保健衛生上の機能 3．被服の機能－社会生活上の機能 4．被服の選び方	a：・被服は，気候・風土によって異なる一方，人生という長い時間軸でみると，ライフステージによっても違ってくることを理解している。 ・取り扱い表示の種類と意味，サイズ表示の見方について理解している。 b：・被服を購入する際には，品質表示をもとに取り扱い表示やサイズ，着心地，動きやすさ，縫製の善し悪しなどを調べることの重要性を理解している。 c：・被服の持つ社会的・文化的な機能を生かし，望ましい着装について考えている。	定期考査	ワークシート（活動）	授業態度 プリント提出
2学期	第2節　被服材料と管理	1. 被服の素材 2. 洗濯方法と表示 3. 洗濯のしくみ 4. 被服の手入れと保管	a：代表的な布として，織物と編物の違いを知る。織物については，三原組織の交錯の仕方，編物では，メリヤス組織について理解し，それぞれ身近な事例を取り上げて確認している。 b：・家庭の湿式洗濯に用いられる洗剤について，その働きや成分を知り，環境に配慮した洗濯の工夫について考えている。 c：・自分の身のまわりの布がどのような繊維でつくられているかに関心を持って取り組んでいる。 ・被服の手入れについて，主体的に取り組もうとしている。	定期考査	ワークシート（活動）	授業態度 プリント提出
	第3節　これからの衣生活	1. 衣文化の継承と創造 2. 持続可能な衣生活	a：・おもに冠婚葬祭などで着用されている「和服」と，西洋から入ってきた「洋服」との違いを知っている。 b：・和服に代表される平面構成と，洋服に代表される立体構成との違いを調べ，特徴を理解している。 c:・着物という日本の伝統衣装についての理解を深め，伝承に努めるとともに，自由な発想で着こなし，個性を表現できる力を身につけようとしている。	定期考査	ワークシート（活動）	授業態度 プリント提出

	第4節　被服の製作	1. 私たちの被服ができるまで 2. 体型と採寸 3. 被服製作の基本 被服製作実習 基礎縫い、エプロン、三角巾	a:・私たちが日常着用している被服（洋服）を観察し，その構造を知っている。 ・被服製作に必要な基礎的な知識・技術を身につけている。 b:・被服製作の手順を理解する。手づくりを部分的に加えることや被服を製作することが計画できる。 c:　被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 実習作品	ワークシート（活動） 実習作品	授業態度 プリント提出
3学期	8章　経済生活をつくる　第1節　私たちの暮らしと経済	1. 人生とお金 2. 収入と支出のバランス 3. 将来の経済生活を考える	a:　・個人や家族の生活目標を実現するためには,経済計画が必要であることを理解している。 ・家庭の収入と支出を通して家計の構造を理解している。 b:　・家庭の生活を支える収入と支出の運営など,家計の管理について理解している。 c:　・経済現象に対して，正確な知識や情報を収集し,主体的に判断し行動する態度を身につけている。	定期考査	ワークシート（活動）	授業態度 プリント提出
	第2節　消費者問題を考える	1. 契約とは 2. 消費者問題はなぜ起こるのか 3. 多様化する支払い方法とリスク防止 4. 消費者の自立と行政の支援	a:・財・サービスの購入はすべて契約であることを知り,契約の重要性を理解している。 b:・消費者被害の事例を通して，消費者被害の状況を理解し,消費者被害が起こる原因を考えている。 ・契約した後でも，考え直して解約できる方法があることを理解している。 ・消費者信用について理解し，利用に際しては,慎重に行う意識と対応策を身につけている。 c:・消費者として適切な意思決定のもとに権利を行使し,責任ある消費行動を取っていこうという態度を身につけている。	定期考査	ワークシート（活動）	授業態度 プリント提出

	第3節　持続可能な社会をめざして	1. 消費生活と持続可能な社会 2. 消費者市民社会をめざして	a: ・持続可能な社会の実現のためには,私たち自身が環境に負荷を与えないように工夫していく必要性を理解している。 b: ・環境負荷の少ない生活をめざして，生活意識や生活様式を見直し,環境に調和したライフスタイルの確立をはかろうとしている。 c:・環境にやさしい消費行動を具体的な項目で示し,周囲と協力しながら実践する姿勢を身につけている。	定期考査	ワークシート(活動)	授業態度 プリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度